



1989年カンヌ国際映画祭  最優秀芸術貢献賞受賞

「ストレンジジャー・サン・パラダイス」  
「ダウン・ハイロー」の ジム・ジャームツシュ 監督・脚本作品

# ミステリー・トレイン


エルビスの《ブルー・ムーン》が  
甘く流れるメンフィスの1夜  
3組のストレンジジャーが  
不思議な夢につつまれた……

ユーモアと詩情とやさしさの  
ジャームツシュの新しい傑作!



工藤夕貴、永瀬正敏、スクリーミン'ジェイ'ホーキンス  
サンキー・ルー、ニコレッタ・プラスキ、エリザベス・ブラッコ  
ジョー・ストラマー、リック・アーヴァイルス、スティーヴ・ブーシャーミ  
ディスクジョッキー・トム・ウエイツ  
監督・脚本 ジム・ジャームツシュ 撮影 ロビー・ミュラー  
音楽 ショーン・ルーリー 編集 メロティ・ロンドン 写真 豊田正孝  
歌 エルビス・プレスリー (《ミステリー・トレイン》) (《ブルー・ムーン》)  
ジュニア・パーカー (《ミステリー・トレイン》)、オーティス・レディング  
《ベイン・イン・マイ・ハート》、ルーファス・トマス (《メンフィスト・トレイン》) 他  
サントラ盤 CD ビクター CD シングル盤 BMG ビクター  
プロデューサー ジム・スターク ラインプロデューサー ラッド・  
シモンズ / プロデューサー 楠 ティミ・ラ・マクブライド  
エグゼクティブ・プロデューサー 平田国二郎・須田英昭  
制作 MYSTERY TRAIN INC. + ビクター音産 / 製作 日本ビクター



フランス映画社配給  
パウ・シリーズ作品 

## MYSTERY TRAIN



やさしさ楽しさあふれる  
ジャームツシュ最新作!

「ミステリー・トレイン」は全世界の若者の心をとらえた「ストレンジャー・ザン・パラダイス」「ダウン・バイ・ロー」のジム・ジャームツシュ監督の最新作で、89年カンヌ映画祭で最高の人気を呼び、新しい映画話術の展開に対する最優秀芸術貢献賞を受賞した。すでに84年カンヌ映画祭の「監督週間」部門に出品して、80年代最大の新人監督の出現を決定づける事件ともなった「ストレンジャー・ザン・パラダイス」で、モノクロームと黒味の斬新な使用で青春を鮮やかに描きだし、「ダウン・バイ・ロー」では脱獄囚の物語を劇的なクライマックスを排除して見事なコメディ



ふたりが泊まるアーケード・ホテルの受付には、悪魔と弟子のコンビのようなナイトクラーク(ストレンジャー・ザン・パラダイス)のテーマ曲の伝説的な歌手スクリーミン・ジェイ・ホーキンス本人の出演)とベルボーイ(サンキー・リー)。

同じホテルに泊まりあわせるのは、夫を亡くしたばかりのどこかマフィアっぽいイタリヤ女性のルイーザ(ダウン・バイ・ロー)のニコレッタ・プラスキ。しゃべり続ける女デューディ(エリザベス・ブラッコ)と同室になり、デューディが眠りこんだ後、ラジオから流

カンヌの上映で爆笑を呼び映画祭のアイドルになった工藤タ貴をはじめ、キャストイングは、ジャームツシュが本人それぞれのイメージから脚本を書いただけあって全員が見事な役。

■「ジャームツシュの最高の作品。全篇活き活きと面白おかしい。演技者たちも皆すばらしい。ヴェンセント・キャンビー(ザ・ニューヨーク・タイムズ) ■「しなやかでエレガントな映画話術から、映画をつくる喜びそのものが伝わってくる。ユベール・ニオグレ(ポジティブ) ■「実に美しい、実に魅力的なミステリー。ミシェル・ブロード(ル・モンド) ■「心にはブルース、くちびるには微笑。いたるところに音楽が聞こえる。耳にも、映像にも。ジャック・デュプレイ(ラ・モンターニユ)。

【キャスト】 ミツコ 工藤タ貴/ジュン 永瀬正敏/ナイトクラーク スクリーミン・ジェイ・ホーキンス/ベルボーイ サンキー・リー/ルイーザ ニコレッタ・プラスキ/ディディ エリザベス・ブラッコ/ジョニー ジョー・ストラマー/ウィル・ロビンソン リック・アークワイルス/チャーリー スティーヴ・ブーシャーミ/D.J. (声) トム・ウェイツ

1989年・アメリカ映画/製作 日本ビクター株式会社/制作 MYSTERY TRAIN, INC.・ビクター音楽産業株式会社/(1×1.85)/1時間51分/全6巻・3,021m/日本語字幕 戸田奈津子/©MYSTERY TRAIN, INC.1989

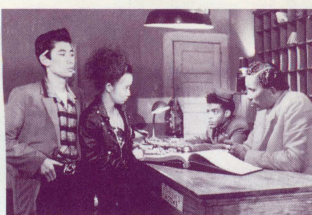


# ミステリー・トレイン

■ジム・ジャームツシュ監督作品

■89年カンヌ映画祭人気最高! 最優秀芸術貢献賞受賞

ーにしたジャームツシュ独特の天才的な映画話法はよく知られているが「ミステリー・トレイン」では、舞台をロッキンロールのふるさとメンフィスにとり、前作までの3人の主人公に代わって、3組の主人公を登場させる。



エルビス・プレスリーに憧れているミツコ(工藤タ貴)と、カール・パーキンスの方がオリジナルとアンチ・エルビスをつっぱるジュン(永瀬正敏)の、仲がよいのに喧嘩ばかりしてメンフィスまで来た日本人の若いカップル……。

れるエルビスの「ブルー・ムーン」とともに、彼女の目の前に若いエルビスの幽霊が登場する……。

デューディに家出されてクサッているのはジョニー(元クラッシュのジョー・ストラマー)。イギリスからメンフィスに憧れてきたのに黒人仲間「エルビス」と呼ばれて差別され、何をやってもうまくいかない。デューディの兄のついてない床屋のチャリー(ステイヴ・ブーシャーミ)と工場仲間のウィル・ロビンソン(リック・アークワイルス)がなだめるのに、うっかり酒屋の主人を撃つてしまい、3人でアーケード・ホテルに逃げこむ……。

3組のストレンジャーが(同時バズル進行で展開する物語は、随所に仕掛けられたさりげない工夫で、おかしさが倍化する進行。



▲ジム・ジャームツシュとジョー・ストラマー

音楽はオープニングがメンフィス時代のエルビス版、エンディングがそのもと歌のジュニア・パーカー版の「ミステリー・トレイン」という深い構成で、トム・ウェイツのDJで「ブルー・ムーン」が3度流れ、メンフィス・サウンドの数々の名曲が全篇をいろどる。

撮影のロビー・ミューラーをはじめスタッフはジャームツシュが望んだ最高の布陣。日本ビクターの全額出資の製作で、ビクター音産がジャームツシュに完全な自由を保証して完成した制作姿勢が世界の映画界の好感を呼んでいる。

【スタッフ】 監督・脚本 ジム・ジャームツシュ/撮影 ロビー・ミューラー/美術 ダン・ビショップ/録音 ドリユー・クニン/音楽 ジョン・ルーリー/歌 エルビス・プレスリー他/(サントラ盤CD:ビクター・レコードVDP1514/CDシングル:BMGビクターR10D-134)/編集 メロディー・ロンドン/スチル 錦田正義/プロデューサー ジム・スターク/ライン・プロデューサー ラッド・シモンズ/アソシエート・プロデューサー ディミトラ・マクブライド/エグゼクティブ・プロデューサー 平田国二部、須田英昭/制作 MYSTERY TRAIN INC.・ビクター音産/製作 日本ビクター

BOW フランス映画社配給  
パウ・シリーズ作品

MYSTERY TRAIN

5月19日(土)～6月1日(金)

キネカ大森 03(762)6000

JR大森駅東口  
西友大森店 5F

津田沼シネパーク 0474(73)3730

連日 12:10 2:30 4:50 7:10

連日 PM9:00より1回上映